

テーマ

『湖陵町民の歌』 保存継承活動

事業実施地区（中学校区名）	湖陵中学校
事業実施公民館等名 （中学校区内にある全ての公民館等）	湖陵コミュニティセンター

テーマの背景

湖陵町民の歌は、昭和 54 年に湖陵中公民館竣工を記念して、歌詞を住民から公募し作成。のびゆく湖陵町、円満な住民性、豊かな自然を歌詞に織り込んだもので、以後 26 年間、小学校や中学校で歌い継がれてきた。また、町内放送で周知してきた。

しかし、平成 17 年出雲市と合併後、歌われる機会がなくなり、録音したカセットテープも劣化・楽譜も手書きのものしかなく、将来に残すことが難しい状況にあった。

実際の取組

ふるさとの『ひと・もの・こと』を次世代に伝え、守っていく活動を実施

事業名：明日に伝える～湖陵町民の歌～

<取組の概要>

1 湖陵町民の歌の楽譜の清書・データ化

過去に作成された手書きの楽譜と録音された音源に基づいて楽譜を清書しデータ化を委託。

2 湖陵中学生歌唱による歌の録音を決定

(1)代表者の選考（湖陵中学校文化祭 クラス対抗合唱コンクール最優秀クラス）

(2)歌唱練習の実施、外部講師による歌唱指導

3 録音 出雲市内の業者に委託

4 CD 作成（写真提供・湖陵中学生）

CD ケースの表紙写真、CD 盤の写真について、湖陵の風景を撮影した生徒の作品を採用

5 湖陵中全校生徒に、湖陵町民の歌や湖陵町に対する意識調査を実施



（外部指導者による事前レッスン）

<成果と課題>

成果

- ①湖陵中学生が、過去に作成され歌い継がれていた町民の歌の存在を知った。
- ②歌いこむ中で歌詞にこめられた風景、制作者のふるさと湖陵への思いを感じ取り、ふるさと意識が深まった。
- ③湖陵の良さを実感した。
- ④意識調査で、湖陵中学生が抱えている湖陵町への思いを知ることができた。
自由意見欄には、9割以上の生徒が町民の歌に対する思いを書いてくれた。

課題

- ①CDによる湖陵町民への普及活動
- ②中学生のアンケートから明らかになる地域課題を地域住民が自らの課題と意識し、解決に向けて考えていく場づくり

まとめ

テーマに迫るためのポイント

①中学生の事業参画

湖陵町民の歌の存在を知り、実際に録音を担ったり歌いこんだりしていくこと。

②意識調査の実施

対象：湖陵中学生 143名 回答：131名

意識調査へ記入することで、生徒個人の事業振り返りになり、改めてふるさとの良さと継承の重要性を認識できた。



(録音本番の様子)

今後の展望

①完成したCD配布先

ハマナス保育園・湖陵幼稚園・湖陵小学校・湖陵中学校・コーラスグループ2団体
市内図書館等。

特に園・学校においては、様々な行事の中で児童・生徒に歌う機会を設けていただきたい。また、地域活動の機会あるごとに流布に努める。

- ② 将来地元に残る(戻ってくる)意識が流動的な中学生にとって、魅力的な地域づくりをすべく、今後の事業の中に、今地元で暮らす若者たちの意見を参考にした内容を織り込み、活発な活動を展開していく。活動をすることで、地元の活動へ目を向けにくい小中学生の保護者世代へ地域の魅力を働きかけていきたい。